

インプラント治療とは？

インプラント治療とは、何らかの原因で失ってしまった歯の代わりに、顎の骨にチタン製のネジを埋め込み、かぶせ物をして人工の歯を作る治療です。失った歯をこれまでと同じように機能させることが可能な、画期的治療法です。



インプラントの構造



インプラントの利点

- 自分の歯と同じ感覚で食べることができる
- 口元のコンプレックスの解消
- 歯を失った部分のみを治療でき、他の歯に負担をかけない



もう一度、噛む喜びを。

天然の歯とほとんど変わらない自由を。
ノーベルバイオケアのインプラント治療。

インプラントの ご案内

歯を失って 悩んでいませんか？

ブリッジにしたら…

- ブリッジを作るために健康な歯を削られてしまう
- ブリッジを支えている歯が痛んでしまい、結局抜くことになってしまう
- 健康な歯とブリッジの見た目が違って見える

部分入れ歯にしたら…

- 銀色のバネが見えて恥ずかしい
- 口臭が気になる

総入れ歯にしたら…

- ガタガタして、硬いものが噛めない
- 食事の際、入れ歯と歯茎の間に食べ物が入り込む
- 歯茎がやせてくるので、作り直さないといけない

インプラントなら、 そんなお悩みを 解決できます。

インプラント治療によって、
天然の歯とほとんど
変わらない感覚で、
物を噛んだり、
会話を楽しむ
ことができます。



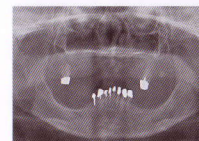
インプラントだからできる、 天然の歯と変わらない自由な生活。

●他の治療法との比較

	治療方法とイメージ	硬いものが 噛める	違和感が ない	美しい 仕上がり	保険適応 がある	特徴
インプラント	歯の根の代わりにチタンの棒を骨に埋め込み、その上に歯をかぶせていく方法 	◎	◎	◎	×	▲顎の骨に固定されているので自分の歯と同じように食べることができる。 ▲周囲の歯に負担をかけない ▼簡単な手術が必要
ブリッジ	失った歯の両側の歯を削り、冠を橋渡しすることによって失った歯を補う方法 	○	○	△	△ (材料等に 応じて)	▲固定式のため違和感があまりない ▼両隣の健康な歯を削らなければならない。 ▼周囲の歯に負担をかける
入れ歯	失った歯の周囲の歯に金属の留め金をつけて、取り外し可能な人工の歯を留める方法 	△	△	△	△ (材料等に 応じて)	▲歯を削らずに済む ▼食べ物が詰まりやすく、虫歯や口臭の原因になりやすい ▼周囲の歯に負担をかける
総入れ歯	取り外し可能な人工の歯を顎の上に乗せる方法 	△	△	△	△ (材料等に 応じて)	▲簡便である ▼入れ歯がぐらついたり、ずれたりする ▼食べ物が入れ歯と歯茎の間にはさまり、痛むことがある

●インプラント治療の流れ

① 診査・診断



- インプラントを埋め込む顎の形や噛み合わせを診査するため、お口の中の型をとります。
- 顎の骨の量や質を検査するためレントゲン撮影、またはCT撮影を行います。

② 手術

麻酔をかけて行いますので痛みはありません。骨を削りインプラントを埋め込み、蓋を取り付けて粘膜を閉じます。骨の状態などによって、術式が異なります。



【1回法の場合】

- 1回法の手術の場合は、大きめの蓋を取り付け、お口の中にその蓋が見えるようにして手術を終了します。



【2回法の場合】

- 2回法の手術の場合は、一度目の手術の治癒期間終了後、粘膜を開けて、大きい蓋に取り替える二度目の手術を行います。

③ 仮歯装着



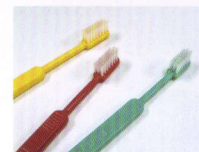
- 治癒したところで場合によっては、仮歯を作り、実際に使用していただきながら形態や装着感などを確認します。
- かみ合わせや強度に違和感があれば歯科医師と相談し、本歯の作成に向けてデータを集めていきます。

④ 最終的な歯の装着



- 仮歯の装着で得た情報を基に歯並びや色をチェックして最終的な本歯を作製します。
- 作製した本歯を装着し、治療が完了します。

⑤ メンテナンス



- 治療が終わった後も、定期検査をしながらきちんと管理していきましょう。